



南小だより

令和6年10月1日 【第7号】
蕨市立南小学校 児童数506名
〒335-0003 蕨市南町1丁目36番6号
Tel 048(442)2514 Fax 048(442)2516
HP <https://minami-e-warabi.edumap.jp/>

学校教育目標 **かしこく ゆたかに たくましく**

読書のススメ

校長 山口 浩

10月に入り、残暑もやわらぎを見せ、いよいよ秋めいてまいりました。10月は6年生の修学旅行や運動会など行事がたくさんあります。その中でも運動会は全児童が一斉に取り組む、一年に一度のビッグイベントです。子供たちは運動会本番に向け、徒競走や演技などの練習に一生懸命取り組んでおります。運動会当日はぜひ、子供たちの躍動する姿をご覧になり、惜しみない応援をお願いいたします。

さて、子供たちの読書活動は、好きな本を読むだけにとどまらず、情報を主体的に読み解き、考えの形成に生かしていく読書(インタラクティブ・リーディング)の必要性が指摘されています(子供の読書活動推進に関する有識者会議より)。小学校低学年における語彙の量と質の違いが学力差に大きく影響しているとの指摘もあり、言語能力を育てていくことは小学校において、とても大切なことです。また、幼児期から学童期にかけての読書能力形成が、その後の社会的・職業的な自立に向けた学びに影響するという意見もあり、子供の読書活動を推進するためには、学校教育だけでなく、社会全体で考えていかなければならないと思います。

近年、スマートフォンなどの普及に伴い、情報通信技術(ICT)を利用する時間が増加傾向にあります。情報に触れることは容易になる一方で、視覚的な情報と言葉の結びつきが希薄になり、情報の意味の吟味や文章の構造や内容を的確に捉えて読解する機会が少なくなっており、とくに学年が進むにつれてその傾向が顕著になっているようです。

子供たちがよい図書と出会い、言葉を学び豊かな感性を磨き表現力を高めるとともに、自分の考えを形成し相手に伝える行動を通して、豊かな人生を送ることは大切なことです。

学校では、図書支援員や司書教諭を中心に、図書室の蔵書の配列や貸出時間を工夫したりして、子供たちが図書に触れやすいようにしています。また、朝の読み聞かせなど、本の読むことの面白さを知ってもらうための取組を年間を通して行っています。近年、家庭環境等の変化により、家庭で落ち着いて本を読む機会が少なくなっているとの指摘があり、とくに高学年から中学校に向けては時間の確保も大きな課題です。しかし、読書する習慣形成は小学校段階では大切なことです。家庭でも少しの時間を、読書に当ててみてはどうでしょうか。夕食後や寝る前などの15分読書も効果的です。最近では、本屋大賞受賞作の紹介など、メディアでも興味関心を惹く多くの作品が紹介されていますので、ぜひ穏やかな天候のもと、読書の秋を満喫してください。